

目次

- 02 平成31年度金ケ崎町
施政方針
- 06 平成31年度予算
- 08 職員配置
- 10 まちの話題
- 12 暮らしのカレンダー
- 14 マンスリートピックス
- 16 ニュースファイル
- 18 まちからのお知らせ
- 20 information
- 22 交番だより
福祉情報
- 23 かねがさきの音色
バイバイむし歯菌
- 24 face 桂 功さん

「4月号表紙」
「いってらっしゃい」
笑顔溢れる新しいステージへ



4月5日、西小学校で行われた入学式。この日14人の児童たちが新しいスタートを歩みだしました。写真は、黄色い帽子と新しいランドセルを背負ったわが子の服を整え、新たなステージへと笑顔で送り出す様子を撮影しました。



平成31年度 金ケ崎町 施政方針

3月定例議会で高橋町長が示した本年度の施政方針の概要を紹介します。

金ケ崎町の重点プロジェクト

- 1 「若者が暮らしたいまちを創る」
- 2 「女性にとって魅力的なまちを創る」
- 3 「活力と特色のある地域を創る」

将来が明るいまちを目指して

平成の時代は、社会生活や産業構造と人口問題、地球温暖化と自然災害、国際環境等歴史を濃縮した大きな変化の年代でした。特に自治体を取り巻く環境は、地方分権と合併、自己決定と自己責任、国の三位一体改革と行財政改革に、消滅可能性都市論等で厳しさを増してきました。5月からの改元にあたり、私たちは歴史の教訓を生かし、未来予測を考察した展望をしなければならぬと考えています。

また、10月からは幼児教育が無償化になる一方、消費税率が10%に引き上げとなり、その対応が求められています。本町は、2025年頃に65歳以上高齢者がピークを迎える状況と、働く世代が高齢者を支える比率が、現在の2.08から10年後には1.68と予測され、今までの以上に大きな社会・経済環境変化が起こ

ることが予想される中、幸福感のある人生とコミュニケーションの高い人間社会の構築が求められていると思います。このような事態に対し、「地域づくりのあり方検討会」からの「日々の暮らしの安全・安心が維持される地域づくり」を推進するとともに、本町の特性を生かした持続性の高い自治体の構築に取り組み、「地域も自治体も」自立を目指していきます。このために、4年目を迎える第十次総合発展計画およびまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく各般の施策、昨年策定した「金ケ崎町自治体経営改革」を、町民と行政が一丸となって実行していきます。

そして、今後も続く人口減少と高齢化において、満足度の高い人生と人間を尊重する社会に向けた行政サービスの供給体制の構築に努力をし、「持続可能なまち金ケ崎」の構築のために、今日に責任を持ち「将来が明るいまち」を目指していきます。

重点プロジェクト

基本目標1 生活環境

1 若者が暮らしたいまちを創る

▼町のPR動画を作成し、町の魅力を発信。▼雇用・出会い・交流・結婚・子育て・住宅といったライフステージの各場面における一連の施策の充実。▼若年者移住定住促進家賃補助金の補助対象を拡大。▼定住促進住宅取得支援補助金を新設。▼民間宅地開発事業に対する補助制度を新設。

1 都市基盤

▼町道野田・前野線および町道一の台10号線の整備。▼長寿命化計画に基づき舗装および橋梁の補修を実施。▼一般国道4号金ケ崎拡幅、用地測量に着手。▼金ケ崎町地域公共交通網形成計画の策定。▼J.Rの運行本数の拡大および六原駅の駅員の配置を要望。▼都市公園の遊具更新工事を実施。

2 女性にとって魅力的なまちを創る

▼「すこやか子ども基金」を新設▼「産後ケア事業」および「産婦健康診査事業」を実施。▼子どもの医療費助成、小学生までの現物給付を実施。▼平成32年度に南方幼稚園を認定ことも園へ。▼小規模保育所の建設に対して補助。▼子育て支援団体等の設立や運営に対する支援の実施。▼妊産婦サポートタクシー助成の実施。

2 自然環境保全

▼自然観察会の実施など、町民・地域の環境保全に対する意識の高揚を図る。▼環境保全協定に基づく事業所の環境測定を継続実施。▼水質、騒音等の環境調査を実施し、公害の未然防止に努める。

3 生活環境

▼ごみの減量化とリサイクルに対する町民意識の向上に努める。▼町道の除排雪体制の維持と、住民参加型歩道除雪の推進および地域における除排雪の支援を検討。▼下水道事業について、町道野田・前野線の下水管布設工事や三ヶ尻処理区の施設設備更新を進める。▼下水道事業の経営改善と料金の見直し等について、町民および関係者へ説明しながら

1 健康増進

▼子どもから現役世代、高齢者までの健康づくりを推進。▼「健康ポイント事業」を継続し、健康無関心層への意識高揚を図る。▼自主的な健康づくり活動を支援。▼保健師が担当地区民の生活習慣病予防および重症化予防を図る。▼「金ケ崎町自殺対策計画」に基づき、自殺対策の中心となるゲートキーパーの養成や企業等の健康管理担当者との連携による相談支援体制の充実などに取り組む。

基本目標2 健康福祉

2 地域医療

▼現状の診療体制の維持と医療サービスの向上に努め、何でも気軽に相談できる「かかりつけ医」の定着を図る。▼訪問診療や在宅での看取りを拡大し、在宅医療の推進に努める。▼医科歯科連携による訪問診療、口腔ケアの推進により、全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上につなげる。

3 地域福祉

▼地域福祉計画に基づき、町民や自治会、社会福祉協議会、行政が互いに支えあいながら福祉活動を推進。▼日頃から支援を必要とする人の把握に努め、大規模な自然災害発生時の早期対応に備える。

「地域も自治体も」 自立を目指していく



←次ページに続く